

木村三千子

Kimura Michiko

詩と随想
川の畔で



詩と随想
川の畔で

木村三千子

Kimura Michiko

木村三千子（きむら・みちこ）

近江詩人会

コルボウ詩話会を経て

「骨」35号より終刊50号まで同人参加

「RAVIN」1961年創刊時より同人

「楽市」1991年創刊時より60号まで同人参加

詩集『歲月』 1968年 文章社

詩と随想『顔』 1984年 文章社 解説・大野新

詩集『片隅日記』 2002年 編集工房ノア

日本現代詩人会会員

現住所 〒531-0063

大阪市北区長柄東2丁目4番11号-1108

かわ
ほり
川の畔で

二〇一四年十一月一日発行

著 者 木村三千子

発行者 涸沢純平

発行所 株式会社編集工房ノア

〒531-0071

大阪市北区中津三ー一七ー五

電話〇六（六三七三）三六四一

FAX〇六（六三七三）三六四二

振替〇〇九四〇ー七ー三〇六四五七

組版 株式会社四国写研

印刷製本 亜細亜印刷株式会社

© 2014 Michiko Kimura

ISBN978-4-89271-219-7

不良本はお取り替えます

「川の畔で」

目次

I

能登

10

ひかり

14

左前

16

袋

20

推移

22

よそ者

24

犬

26

*

残つていくものは

32

雨

34

明暗

36

慣れ	40
淘汰	42
仲間	44
現在地	46
*	
下地子	52
茸	56
千人針	60
歲月	64
乳	68
記録	72
近江詩人会	
三カ月だけの合評会	
	76

II

新国民歌 84

纏足 87

美容部員 90

仮面の街で 93

天野大虹「白い船」について 96

パンチェン・ラマ十世のこと 99

*

あとがき 109

全装画 天野大虹
装幀 森本良成

詩と随想
川の畔で

木村三千子

Kimura Michiko



「川の畔で」

目次

I

能登 10

ひかり 14

左前 16

袋 20

推移 22

よそ者 24

犬 26

*

残っていくものは 32

雨 34

明暗 36

慣れ	40
淘汰	42
仲間	44
現在地	46
*	
下地子	52
茸	56
千人針	60
歲月	64
乳	68
記録	72
近江詩人会	
三カ月だけの合評会	
	76

II

新国民歌 84

纏足 87

美容部員 90

仮面の街で 93

天野大虹「白い船」について 96

パンチェン・ラマ十世のこと 99

*

あとがき 109

全装画 天野大虹
装幀 森本良成

I

能登

冬の夜は

海鳴りが近くに迫ってくる

心を占めていく不安

形の見えないものが

確かさを増してくる

雪明りの窓に寄り

今日を沈めていた